

## サーバ機器要件

### 1. 履行場所

福岡地区水道企業団本庁舎(福岡市南区清水 4 丁目 3-1)

福岡地区水道企業団牛頸浄水場(大野城市牛頸 1 丁目 1-1)

福岡地区水道企業団海水淡水化センター(福岡市東区大字奈多 1302-122)

### 2. 業務内容

#### (1) 福岡地区水道企業団内におけるネットワーク機器等の更新

##### ① 導入機器

種別	数量	単位	設置場所	備考
ファイアウォール(UTM)	1	台	本庁舎	アンチウイルス, アンチスパム, Web フィルタリング機能を提供すること
L3 スイッチ	2	台	本庁舎	機器冗長化(スタック構成)とすること
サーバ接続 L2 スイッチ	2	台	本庁舎	機器冗長化(スタック構成)とすること
拠点 L2 スイッチ	1	台	牛頸浄水場	
拠点 L2 スイッチ	1	台	海水淡水化センター	

##### ② ネットワーク構築要件

(ア) 現行(UTM なし)ファイアウォール及び現行クラウド型総合セキュリティ対策機器を(UTM あり)ファイアウォールへ更新すること。UTM はアンチウイルス, アンチスパム, Web フィルタリング機能を実装すること。

(イ) 現行 L3 スイッチ(1 台)を機器冗長化(スタック構成)で更新すること。

(ウ) 現行サーバスイッチ(1 台)を機器冗長化(スタック構成)で更新すること。

(エ) 拠点 L2 スイッチを更新すること。

(オ) 各スイッチにおいてはループ対策設定を行うこと。

#### (2) 福岡地区水道企業団内における基幹サーバ等の更新

##### ① 導入機器

種別	数量	単位	設置場所
仮想基盤サーバ	2	台	本庁舎
共有ストレージ	1	台	本庁舎
仮想基盤管理サーバ兼バックアップサーバ	1	台	本庁舎
RDXドライブ	1	台	本庁舎
無停電電源装置	3	台	本庁舎
ディスプレイ/キーボードユニット	1	台	本庁舎
コンソール切替器	1	台	本庁舎
サーバラック	1	台	本庁舎
遠隔地バックアップサーバ	1	台	牛頸浄水場
無停電電源装置	1	台	牛頸浄水場

ディスプレイ/キーボードユニット	1	台	牛頸浄水場
コンソール切替器	1	台	牛頸浄水場
サーバラック	1	台	牛頸浄水場

## ② サーバ構築要件

### (ア) 共通事項

- ・導入機器については、サーバラックに搭載すること。サーバラックは、EIA 規格とする。また、NE BS 規格 ZONE4 または NTT 耐震規格震度 7 強の規格を満たすものとし、アンカー等でしっかり固定すること。

### (イ) 仮想基盤サーバ

- ・現行のシステム単位で設置しているサーバ機器を仮想化技術によりハードウェア統合化すること。
- ・仮想基盤サーバに導入する仮想化ソフトは、VMware vSphere 6.5 以上であること。
- ・仮想基盤サーバは 2 台で冗長化構成とし、障害発生時には、障害が発生した仮想基盤サーバ上の仮想サーバが別の仮想基盤サーバ上で自動再起動されること。(vSphere HA)
- ・ゲスト OS を将来的に数台追加できるリソースを考慮し、提供すること。
- ・共有ストレージは、仮想基盤サーバに FC (ファイバチャネル) 接続され、仮想サーバのデータストアとして機能する装置であること。
- ・仮想基盤サーバ上に業務システムを導入する依頼があった場合、そのシステムの OS 基盤設定(OS インストール、ネットワーク設定等)を行うこと。(アプリケーション、データ移行は含まない)

### (ウ) 共有ファイルサーバ

- ・ゲスト OS 上に構築すること
- ・共有ファイル用の環境の構築(フォルダの作成、グループ設定及びアクセス権の設定)
- ・ハードディスク障害時のリスク管理が行えること
- ・データの自動バックアップを行うこと。
- ・本庁舎、牛頸浄水場、海水淡水化センターにそれぞれ設置している共有ファイルサーバを統合し、各共有ファイルサーバのデータ移行を行うこと。

### (エ) ドメインサーバ(正/副)

- ・ゲスト OS 上に構築すること
- ・各職員端末(約 110 台)のログオン・アクセス管理を行えること
- ・ユーザ、ポリシー等の設定移行を行うこと。

### (オ) WSUS サーバ

- ・ゲスト OS 上に構築すること。
- ・Windows 更新プログラム処理の自動化を行えること。
- ・各職員端末(約 110 台)の Windows 更新処理管理を行えること。

### (カ) ウイルス対策サーバ

- ・ゲスト OS 上に構築すること。
- ・各職員端末(約 110 台)のウイルス対策ソフトを一元的に管理できること。
- ・メールを悪用するワーム, ウィルス等に対する危機管理対策ができること。

(キ) メールサーバ

- ・ゲスト OS 上に構築すること
- ・企業団独自の E-mail アドレス(f-suiki.or.jp)の管理ができること。
- ・汎用メールソフトによる E-mail 環境の構築を行うこと。
- ・既存のメールサーバに保存されているユーザデータの移行は含めない。

(ク) 外部 DNS サーバ

- ・ゲスト OS 上に構築すること。
  - ・メールサーバからの外部へのメールをリレーすること。
  - ・外部からのメールをメールサーバにリレーすること。
  - ・DNS 機能(名前解決)を構築すること。
  - ・セキュリティホールなどのアラート情報が公開された場合は速やかに対処できること。
- (適宜対処することとし, 作業に必要な費用も含む)
- ・プロキシ機能を構築すること。

(ケ) 仮想基盤管理サーバ兼バックアップサーバ

- ・バックアップソフトウェアにより, サーバ全体および共有フォルダのバックアップを行うこと。
- ・企業団が指定するバックアップデータを RDX ドライブに取得し, 一定期間毎にカートリッジを保管が可能なこと。
- ・共有ファイル等の企業団が指定するデータは, バックアップソフトを用いて遠隔地バックアップサーバへのレプリケーションが可能であること。

(コ) 遠隔地バックアップサーバ

- ・バックアップソフトウェアにより, ファイルサーバ等の重要データを内蔵ディスクにレプリケーションする機能を有すること。
- ※仮想サーバで役割を同梱しないこと(ウイルス対策, WSUS は専用ゲストとする)

(サ) 無停電電源装置

- ・遠隔監視により, バッテリー容量等の点検を行い, 定期的または必要に応じて交換等を行うこと。